|  |
| --- |
| *JAXA　PCG実験　簡易結晶化診断申込書* |
| 区分 | 項目 | 記入欄 |
| 申込タンパク質名称 |  |
| 申込日 | 西暦　　　年　　月　　日 |
| 申込者 | 所属機関 |  |
| 研究代表者名／役職 |  |
| E-mailアドレス |  |
| タンパク質基本情報 | UniProt/refseq/GenBankAccession Numberもしくはアミノ酸配列 |  |
| 分子量 | 計算値：　　　　　　　　　　実測値： |
| 等電点 | 計算値：　　　　　　　　　　実測値： |
| タンパク質の区分 | 水溶性　／　膜結合型　／　膜貫通型 |
| ＊以下、可能な範囲で記載下さい。 |
| その他追加情報 | 発現系 | 大腸菌　／　SF9　／　Pichia　/　Native 等 |
| 糖鎖修飾の有無 | （分かる範囲で記載下さい） |
| 精製一回分のタンパク質調製量 | （例：10 mg） |
| 当面の試料提供可能量 | （例：3 mg） |
| 精製ロット間の性状のばらつき | 有　／　無　または程度について記載下さい。 |
| 精製手順 | （例：破砕後、Ni精製をし、脱塩後、Hi TrapQカラムで陰イオン交換。濃縮後、Superdex 200でゲルろ過。濃縮し、最終精製標品とする。） |
| 濃縮方法 | （例：VIVASPIN 500 で5000xG、10min毎にピペッティングなど） |
| 結晶化用タンパク質溶液の組成（送付予定の組成をご記入ください。） | （例：タンパク質10mg/mL、5mM Tris-HCl pH8、100mM NaCl、2mM DTT） |
| 溶液での保存性 | （保存期間による劣化等の知見があれば記載下さい） |
| 結晶化スクリーニングの有無 | これまでに申込タンパク質の結晶化スクリーニングを実施した経験があれば記載下さい。（例：使用したスクリーニングキットやタンパク質濃度、溶解バッファー条件等） |
| 診断の主要目的 | 主に性状解析　　　主にスクリーニング |
| その他、特記事項試料の取扱い等において留意する点などがあれば記載下さい。 | （例：濃縮行程で凝集しやすい、MgCl2 < 5mMで沈殿、基質等との混合が必要、など） |
| 次ページに続きます。 |

|  |  |
| --- | --- |
| SDS-PAGE | クロマトグラフィ |
| （SDS-PAGEの写真があれば添付下さい。または別途送付下さい） | （クロマトグラムがあれば添付下さい。または別途送付下さい） |
| Native PAGE |
| （Native PAGEの写真があれば添付下さい。または別途送付下さい） |